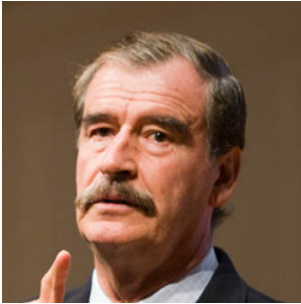


VICENTE FOX

▪ President of Mexico 2000-2006

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Topics

- Government
- Politics

ビセンテフォックスは国民的行動党(PAN)の下で2000-06年からメキシコの大統領だったメキシコのビジネスマンです。彼はまた、キリスト教の民主的な政党の国際組織であるCentrist Democrat Internationalの共同会長でもあります。

2000年にメキシコ大統領に選出されたとき、ビセンテ・フォックスは、支配的な制度革命党が70年にわたって国家を握っていたという束縛を破りました。カリスマ的な改革者であるフォックス大統領は、メキシコの民主化において重要な役割を果たしたこと、そして国の経済を強化したことで功を奏しています。在職中、彼はインフレ率と金利を管理し、ラテンアメリカ全体で最低の失業率を達成することに成功しました。

彼の著書、希望の革命で、フォックスはアメリカ大陸の未来への希望の新しいビジョンを概説します。彼は、移民、イラク戦争、人種差別、グローバリゼーション、国連の役割、自由貿易、宗教、ジェンダー平等、先住民族の権利、および貧困国と健康国の間の健康上の倫理的義務など、熱い世界的トピックについて力強く語ります。メキシコに真の民主主義をもたらした人から、希望の革命は勝利の個人的な物語であり、未来への政治的ビジョンです。

9人の子供のうち2人目の子供であるフォックスは、子供時代の大部分をグアナファトの父の牧場で過ごしました。メキシコシティのイベロアメリカン大学で勉強し、ハーバード大学ビジネススクールが管理するコースを受けた後、1964年にワーキングワールドに入社し、コカコーラカンパニーのトラックを運転し始めました。メキシコとラテンアメリカのコカコーラ大統領に就任したことがある最年少の幹部。フォックスの下で、コカコーラはメキシコで最も売れているソフトドリンクとしてペプシを凌駕しました。

2006年12月に辞任して以来、フォックスは、物議をかもした2006年の選挙やイラク戦争などのトピックについてナイジェリア、アイルランド、カナダ、米国などの国々で話をすることで世間の注目を集めてきました。メキシコでは、元メキシコ大統領が政治的な注目を浴びないようにすることが期待されていたため、フォックスの忙しい大統領選挙後の大統領選挙は多くの批判を引き起こした。それにもかかわらず、フォックスは「メキシコが民主主義である今、権威主義的な過去にまだ生きている人々の反民主主義の規則を守る理由はない」と述べた。